



平成29年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月4日

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 コード番号 3035 URL <http://www.ktk.gr.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土岐 勝司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 青山 敏久

TEL 052-931-1881

四半期報告書提出予定日 平成29年4月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年8月21日～平成29年2月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	8,215	1.7	125	35.5	154	41.6	118	66.5
28年8月期第2四半期	8,355	2.0	92		109		71	

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 153百万円 (96.2%) 28年8月期第2四半期 78百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	20.75	
28年8月期第2四半期	12.46	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第2四半期	8,092	2,715	33.6
28年8月期	8,198	2,590	31.6

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 2,715百万円 28年8月期 2,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		0.00		5.00	5.00
29年8月期		0.00			
29年8月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年8月21日～平成29年8月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,557	3.7	150	21.6	180	16.0	120	23.6	20.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期2Q	5,725,000 株	28年8月期	5,725,000 株
期末自己株式数	29年8月期2Q	2,861 株	28年8月期	2,861 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期2Q	5,722,139 株	28年8月期2Q	5,722,139 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については四半期決算短信(添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年8月21日～平成29年2月20日)におけるわが国経済は、政府主導による経済政策等により、雇用情勢や所得環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調が続いております。

このような環境のなか、当社グループは更なる売上と利益の拡大、企業価値の最大化を目指す「ktkアドバンスドプラン」を策定し、前連結会計年度と同様に最速実行をしております。この「ktkアドバンスドプラン」は、“高度”“進歩”を意味する『Advanced』の言葉の通り、より高度な戦略となっており、営業、生産、管理・経営、調達・物流の各部門に「売上拡大と新たな事業の確立」「総原価削減、生産性向上、製品品質改善」「企業価値と社員満足度の更なる向上」「更なる物流経費削減、調達コストダウン、効率化、調達発の売上貢献」をアクションプランに掲げ、全社が一丸となって邁進しております。

また、平成28年8月21日付で、当社が販売するリサイクル商品に係る再生業務を担っておりました連結子会社の株式会社アイオーテクノを吸収合併いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、平成28年3月22日付で新設分割し、同日付で新設会社の株式の一部を譲渡したソリューション事業を連結の範囲から除外したことや、連結子会社の株式会社青雲クラウンが前年同四半期に文具事務機店の大口案件を受注していたこともあり8,215百万円(前年同四半期比1.7%減)となりました。営業利益につきましては、前連結会計年度の「ktkリバイバルプラン」の効果と当連結会計年度の「ktkアドバンスドプラン」の最速実行により、原材料費の低減を中心とした製造コストの削減と調達コストの削減、経費の削減により大幅に改善し125百万円(前年同四半期比35.5%増)となりました。

経常利益は、営業利益の増益に加え、当社資産の賃貸による家賃収入により154百万円(前年同四半期比41.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は118百万円(前年同四半期比66.5%増)となりました。

なお、連結子会社である株式会社青雲クラウンの業績は、多くの顧客の年度末及び年度始めにあたる当社第3四半期連結会計期間以降に売上高が多く計上されるという季節的変動があります。

また、第1四半期連結累計期間より、当社グループの事業は単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ106百万円減少し、8,092百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ129百万円減少し、5,354百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が187百万円増加し、現金及び預金が327百万円減少したこと等によりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ23百万円増加し、2,737百万円となりました。これは、投資その他の資産が59百万円増加し、有形固定資産が13百万円、無形固定資産が23百万円減少したことによりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、4,571百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が173百万円減少したこと等によりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ12百万円減少し、805百万円となりました。これは、主に繰延税金負債が16百万円増加し、長期借入金が18百万円、退職給付に係る負債が14百万円減少したこと等によりです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ124百万円増加し、2,715百万円となりました。これは、主に利益剰余金が90百万円増加したこと等によりです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ221百万円減少し、1,748百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、255百万円(前年同四半期は303百万円の使用)となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益158百万円であり、支出の主な要因は、売上債権の増加額188百万円、仕入債務の減少額173百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は、78百万円(前年同四半期は32百万円の獲得)となりました。収入の主な要因は、定期預金の払戻による収入171百万円であり、支出の主な要因は定期預金の預入による支出64百万円、有形固定資産の取得による支出16百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、44百万円(前年同四半期は34百万円の獲得)となりました。支出の主な要因は、配当金の支払額28百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の業績予想につきましては、平成28年10月3日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、平成29年3月29日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

《簡便的な会計処理》

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②たな卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、前連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計期間に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

⑤法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計期間末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、一時差異等の発生状況に大幅な変動がないと認められるため、前連結会計期間において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,510,499	2,182,561
受取手形及び売掛金	2,429,526	2,616,910
商品及び製品	408,905	409,410
仕掛品	464	864
原材料及び貯蔵品	47,689	48,889
その他	88,089	96,753
貸倒引当金	△829	△923
流動資産合計	5,484,346	5,354,466
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,097,416	1,097,416
その他(純額)	416,844	403,564
有形固定資産合計	1,514,260	1,500,980
無形固定資産		
のれん	91,140	88,292
その他	96,567	75,998
無形固定資産合計	187,707	164,291
投資その他の資産		
その他	1,027,892	1,088,658
貸倒引当金	△15,464	△16,332
投資その他の資産合計	1,012,428	1,072,326
固定資産合計	2,714,397	2,737,597
資産合計	8,198,743	8,092,064

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,977,211	2,803,803
短期借入金	1,341,898	1,348,252
未払法人税等	34,266	32,010
賞与引当金	84,035	90,396
役員賞与引当金	7,500	-
その他	345,435	297,253
流動負債合計	4,790,346	4,571,715
固定負債		
長期借入金	404,727	385,829
役員退職慰労引当金	85,407	90,041
退職給付に係る負債	128,697	114,005
その他	199,445	215,470
固定負債合計	818,278	805,346
負債合計	5,608,624	5,377,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	294,675	294,675
資本剰余金	663,325	663,325
利益剰余金	1,551,714	1,641,865
自己株式	△1,281	△1,281
株主資本合計	2,508,433	2,598,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,685	116,418
その他の包括利益累計額合計	81,685	116,418
純資産合計	2,590,118	2,715,002
負債純資産合計	8,198,743	8,092,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年2月20日)
売上高	8,355,709	8,215,766
売上原価	6,647,500	6,538,353
売上総利益	1,708,208	1,677,413
販売費及び一般管理費	1,615,259	1,551,477
営業利益	92,949	125,936
営業外収益		
受取利息	321	245
受取配当金	7,292	7,832
仕入割引	20,883	21,081
受取家賃	17,219	30,585
その他	6,435	4,249
営業外収益合計	52,152	63,994
営業外費用		
支払利息	8,564	6,226
売上割引	21,548	23,417
その他	5,883	5,828
営業外費用合計	35,996	35,472
経常利益	109,105	154,458
特別利益		
保険解約益	8,418	3,863
特別利益合計	8,418	3,863
税金等調整前四半期純利益	117,523	158,321
法人税、住民税及び事業税	21,128	26,308
法人税等調整額	25,045	13,251
法人税等合計	46,174	39,560
四半期純利益	71,349	118,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,349	118,761

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年2月20日)
四半期純利益	71,349	118,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,886	34,733
その他の包括利益合計	6,886	34,733
四半期包括利益	78,235	153,494
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,235	153,494
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年2月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	117,523	158,321
減価償却費	62,150	51,114
のれん償却額	2,848	2,848
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,883	962
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,759	4,634
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△7,500
賞与引当金の増減額(△は減少)	42,330	6,361
受取利息及び受取配当金	△7,614	△8,078
支払利息	8,564	6,226
固定資産除却損	15	262
固定資産売却損益(△は益)	△311	△814
保険解約損益(△は益)	△8,418	△3,863
売上債権の増減額(△は増加)	△171,302	△188,915
たな卸資産の増減額(△は増加)	△46,218	△2,104
仕入債務の増減額(△は減少)	△235,900	△173,408
その他	△40,778	△73,434
小計	△277,989	△227,386
利息及び配当金の受取額	7,614	8,078
利息の支払額	△9,568	△7,111
法人税等の支払額	△23,369	△28,898
営業活動によるキャッシュ・フロー	△303,312	△255,319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,414	△64,910
定期預金の払戻による収入	36,003	171,001
有価証券の取得による支出	△3	-
有形固定資産の取得による支出	△5,530	△16,942
有形固定資産の売却による収入	5,633	815
無形固定資産の取得による支出	△2,353	△785
投資有価証券の取得による支出	△6,137	△7,230
投資有価証券の売却による収入	-	8
差入保証金の差入による支出	△16,440	△12,641
差入保証金の回収による収入	4,608	12,142
保険積立金の積立による支出	△8,485	△7,810
保険積立金の解約による収入	38,211	7,392
長期前払費用の取得による支出	△3,201	△2,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,890	78,409

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月21日 至平成28年2月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年8月21日 至平成29年2月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	32,445	6,354
長期借入れによる収入	300,000	250,000
長期借入金の返済による支出	△291,146	△268,898
リース債務の返済による支出	△6,907	△3,991
配当金の支払額	△41	△28,401
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,350	△44,937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△236,071	△221,847
現金及び現金同等物の期首残高	2,232,165	1,970,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,996,094	1,748,751

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年8月21日 至 平成28年2月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サプライ事業	ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,255,923	99,786	8,355,709	—	8,355,709
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	158	158	△158	—
計	8,255,923	99,945	8,355,868	△158	8,355,709
セグメント利益	104,122	4,982	109,105	—	109,105

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を図っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年8月21日 至 平成29年2月20日)

当社グループは「サプライ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループの報告セグメントは、前連結会計年度において、ソリューション事業を営む株式会社ケイティケイソリューションズの株式の一部を譲渡したことによりサプライ事業の単一セグメントとなったため、セグメント情報の記載を省略しております。